

創立40周年記念誌

笑顔



公益社団法人 白河・西郷広域シルバー人材センター

目 次

創立40周年を迎えて

公益社団法人 白河・西郷広域シルバー人材センター理事長 芳賀憲市 …… 1

祝 辞

白河市長 鈴木和夫様 …… 3

西郷村長 高橋廣志様 …… 4

白河市議会議員 筒井孝充様 …… 5

西郷村議会議員 真船正康様 …… 6

(公社)福島県シルバー人材センター連合会会長 川浪廣次様 …… 7

40年のあゆみ …… 8

写真で振り返る40年 …… 12

会員の声 …… 30

歴代役員一覧 …… 36

事業実績・会員数推移 …… 39

目録贈呈・表彰式 …… 40

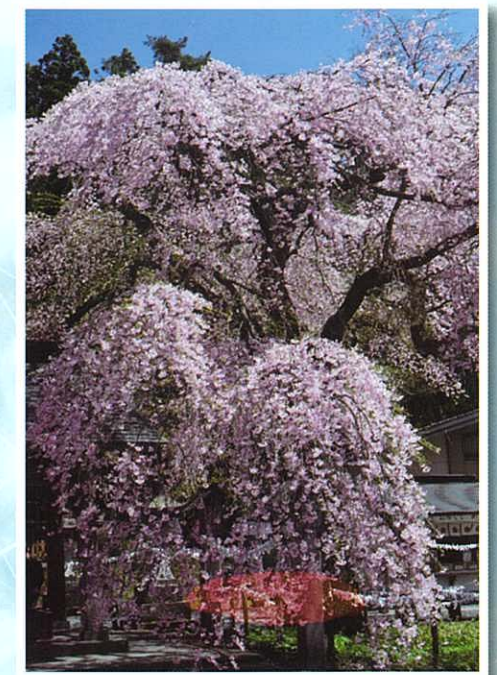
役職員・部会員写真 …… 43

編集後記



写真 齋藤 昭彦 会員
「小峰城」「翠楽苑」「楽翁桜」「白河の関」

題字「笑顔」 山本 透 会員





創立40周年を迎えて

公益社団法人 白河・西郷広域シルバー人材センター
理事長 芳賀 憲 市

当シルバー人材センターは、1982年（昭和57年）2月25日「社団法人白河市シルバー人材センター」として県内7番目に発足し、このたび創立40周年という記念すべき年を迎えることができました。

まずは会員の皆さんと共に喜びを分かち合いたいと思います。

センターが、これまでおおむね順調に歩んで来られたのも、ひとえに白河市及び西郷村を始め国、県など関係機関の温かいご指導とご支援の下、多くの先輩会員各位のたゆまぬ努力と、センターを利用して下さる住民の皆様、企業・事業所の皆様のお陰と深く感謝と御礼を申し上げます。

これまでの40年を顧みますと決して平坦な道のりでなく、発足時の草創期は、退職した高齢者が働くのはごくまれな時代で、センターの知名度もない中、スタートした初代黒沢理事長さん始め、わずか百名の会員の皆さんの就業開拓などの苦労は並々ならぬものがあったと思います。

2002年の「創立20周年」以降においても、2006年の市町村合併に伴う4つのセンターの統合、2008年の世界規模の金融危機「リーマンショック」、2011年の「東日本大震災」、そして2020年から全世界で感染拡大が始まり、未だ禍中にある「新型コロナウイルス」などセンターの運営を左右する様々な出来事を経験する中で、こうした幾多の試練を会員、役職員の英知と努力によって乗り越え、時代の進展とともに着実に歴史を刻んで参りました。

現在センターが直面する課題は、会員の確保に象徴される「人口減少社会に

おけるセンターの運営」と「新型コロナウイルス対策」であります。

我が国は1997年に、子供の数が高齢者人口より少なくなる少子社会に入り、2008年は人口減少元年と言われております。

2021年に総務省が発表した人口推計によりますと、65歳以上の高齢者は総人口の29%を占め、過去最多を更新し、2020年の労働力調査では、高齢者の4人に1人が働く時代となりました。

政府は改正高年齢者雇用安定法などを通して、労働力や社会保障の担い手として元気な高齢者に期待を寄せております。

このような状況の中、センターがその一翼を担うため、地域での事業活動を通して社会経済の発展に寄与できる意義は誠に大きいものがあります。

また、「新型コロナウイルス感染防止」は会員の命と健康を守る大切な柱で、感染防止こそがセンター発展の第一歩です。

これまで歩んできた40年の歴史を心に刻み、「自主・自立・共働・共助」のシルバー人材センターの基本理念に立ち返り、会員の皆様方と役職員が心をつなげて、「働く喜び」や「生きがい」を感じ、心触れ合うセンター、地域に愛され信頼されるセンターづくりを目指し、更なる努力を続け、事業を推進していく覚悟です。

私達は次なる新時代に挑戦し、輝かしい未来を実現するため、英知を結集して力強く歩んで参ります。

最後に、今後とも皆様方の変わらぬご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。また、記念誌の発行にあたり、ご寄稿を頂戴した皆様方に厚く御礼を申し上げます。また、記念誌の発行にあたり、ご寄稿を頂戴した皆様方に厚く御礼を申し上げます。また、創立40周年の挨拶といたします。



祝 辞

白河市

市長 鈴木和夫

公益社団法人白河・西郷広域シルバー人材センターが、創立40周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、本市の市政運営に多大なるご理解とご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

貴センターは、昭和57年2月に社団法人白河市シルバー人材センターとして設立後、西郷村との広域化や表郷、大信、東の各センターの統合などの変遷を辿りながら、一貫して「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、仕事や社会奉仕活動等を通じた高齢者の生きがいづくりや、その豊富な知識や経験、技能を生かした活力ある地域社会づくりに貢献されてきました。昨年度においては、会員数604名を擁し、受注件数が4,023件にのぼるなど、輝かしい実績をあげておられます。

ここに至るまでは、平坦な道ばかりではなかったものと拝察いたします。しかし、一步一步着実に積み重ねた40年の歩みが、今日の「白河・西郷広域シルバー人材センター」を作り上げてきたのだと思います。歴代の役員の方々をはじめ、会員の皆様のご尽力に、心から敬意を表します。

2020年国勢調査では、5年前の調査と比較して総人口は約94万人、経済活動の担い手となる生産年齢人口は約226万人それぞれ減少しております。また、1947年から1949年に生まれた約600万人のいわゆる「団塊の世代」が、2022年より75歳以上の後期高齢者へ移行していくなど、高齢化の進行による労働力人口の減少が顕著になっております。

本市においても、令和2年10月1日時点で29.3%であった高齢化率は、令和7年には31.8%まで上昇するものと推測され、全国と同様に高齢化と人口減少が加速度的に進むものと見込まれております。

こうした中、現役を退いた後も働く意欲のある高齢者に、就業や社会参加の機会を提供するシルバー人材センターの存在は、将来にわたり活力ある地域社会を維持していくうえで、今後より一層大きくなってまいります。

市といたしましても、その重要性を深く認識し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者サロンへの支援をはじめ、運転免許を持たない方へのバス・タクシー運賃の助成、さらには、移動販売車による買い物支援など、様々な事業を展開しております。

貴センターにおかれましても、更なる入会者の増加に努めるとともに、会員の皆様永年培ってこられた豊かな経験や知識、能力を発揮できるよう、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人白河・西郷広域シルバー人材センターの今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

西郷村

村 長 高 橋 廣 志

公益社団法人 白河・西郷広域シルバー人材センター創立40周年の記念すべき節目を迎え、ここに記念誌を発刊されますことは誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

また、日頃より村政運営に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

貴センターは発足以来順調な発展を遂げられ、今では白河市、西郷村併せて650余名の会員を抱える県内でも屈指のシルバー人材センターに成長しております。

しかし、ここに至るまでには、もちろん平坦な道ばかりではなかったものと察します。一步一步着実に歩みを進め、40年の歩みが根となり幹となり、今日のシルバー人材センターを作り上げてきたものと思います。これもひとえに、歴代役員をはじめ、会員の皆様の日頃の活動の賜物と、心から敬意を表するものであります。

さて、総務省の統計によりますと、我が国の65歳以上の方の総人口に占める割合は、令和3年9月15日時点で29.1%と過去最高となっております。また、就業者総数に占める65歳以上の方の割合は、13.6%と、こちらも過去最高となりました。この数値は、今後も増えていくことが見込まれており、これからは高齢者の方々の就業環境を整備していくことが不可欠であります。

このような状況の中、貴センターは、高齢者の能力と希望に応じた多様な働き方を提供し、高齢者の方々の生きがいづくりに貢献していただいております。そして、幅広い仕事を貴センターが受託することは、地域社会への貢献へと繋がっております。

今後も、高齢者の就業の拠点として、会員の皆様に生きがいと喜び、楽しみに溢れた人生を提供していただくとともに、地域のサポーターとして活躍していただく役割を担っていただきたいと思っております。

さて、昨今、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策が強られる厳しい労働環境にありますが、貴センターにおかれましては、今まで培ってきた知識や経験を生かして雇用の安定を図り、会員の皆様には、今後とも健康に留意されながら、いきいきと地域の中心として、ご活躍されますことを心よりご期待申し上げます。

西郷村といたしましても、公益社団法人 白河・西郷広域シルバー人材センターの地域における重要性を深く認識し、引き続き支援に努めてまいります。

結びに、貴センターが「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、一層の飛躍を遂げられますとともに、会員の皆様のますますのご健康とご活躍を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



祝 辞

白河市議会

議 長 筒 井 孝 充

公益社団法人白河・西郷シルバー人材センターが創立40周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

また、会員・関係者の皆様には、日頃より議会運営にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

貴人材センターにおかれましては、昭和57年設立以来「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、高齢者の就業を支援し、生きがいの充実や社会参加の推進を図るとともに、その能力を生かした活力ある地域社会の創出に寄与され、様々な活動を通じ本市にご貢献を頂いておりますことに対し、心より敬意と感謝の意を表するものであります。

この40年間には、多くの会員登録に留まらず事業実績等においても、着実にすばらしい功績を収められていることは、芳賀理事長をはじめ歴代の理事長、役員や職員の方々、そして会員の皆様のご尽力の賜物であると存じ、長年にわたるご労苦に改めて敬意を表する次第であります。

さて、我が国は、世界に冠たる長寿国となり、人口減少や少子高齢化の急速な進行に直面し、さらに今般、終息の見えない新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、あらゆる活動に甚大な影響を及ぼしております。

このような難局を乗り越えていくためには、人と人、人と社会がしっかりと手を携えていくことが大切であり、皆様がこれまでに培ってこられた豊かな知識や経験、技能を擁する貴人材センターの役割に大きな期待を寄せるものであります。

今後も、理事長をはじめ会員、関係者の皆様には、組織運営の理念のもと、「ともに働き、ともに楽しむ地域の輪」をより一層広げて頂き、更なるご活躍を念願するものであります。

市議会といたしましても、シルバー世代が生き生きと輝き活躍できる「地域共生社会」の実現に向け、誠心誠意支援してまいる所存であります。

結びに、「公益社団法人白河・西郷広域シルバー人材センター」のますますのご発展、併せて皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

西郷村議会

議長 眞 船 正 康

このたび、公益社団法人白河・西郷広域シルバー人材センター様が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝いを申し上げます。また、貴センターが高年齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに地域社会の活性化に貢献するという使命を設立以来40年の長きにわたり果たされておりますことに対し改めて感謝を申し上げます。

さて、我が国の少子高齢化・長寿化は目を見張るばかりであり、2021年のWHO発表によれば女性が86.9歳で世界第1位、男性が81.5歳で世界第2位となった一方で、社会保障、医療制度、介護制度、安定した雇用の確保、就業機会の確保、社会参加の継続性、ひいては社会的孤立等が依然として大きな課題となっております。同時に、個人意識の啓蒙も盛んに叫ばれ、何よりも代えがたい健康をいかに延伸するかを誰もが意識するようになりました。当然のこととして、長年培ってきた技術や知恵、能力を世に活かすことは大切でありますし、また労働意欲を継続し生きがいをもって社会参加を続ける場を作ることは、まさにセンターの重要な役割であると思っております。

貴センター運営の歴史において、白河市、表郷村、大信村、東村の合併の折、各センターが統合されましたが、現在、白河本所、西郷支所、表郷事務所、大信事務所、東事務所の会員合計は640人を超えていると伺っております。また経営という観点からみればこの40年の間には、大きくはバブル経済、その後平成10年8.27災害、平成20年リーマンショックと言われる日本経済の落ち込み、平成23年東日本大震災、令和2年からは新型コロナウイルス感染症の世界的流行等が挙げられますが、運営の責任、工夫、改革、会員確保、事業確保等あらゆる方策を立てセンター維持にご努力してきたものと拝察いたします。特に、新型コロナウイルスの流行によって私たちの生活は突如として大きく変わりました。

しかしながら、どのような状況であろうとも実績のある貴センターを利用する人が増えるほどサービスの質が高くなると言えますし、会員としてその要望に応える努力を抜きにしてはこのように息の長い事業を維持することはできなかったと思っております。

やはり、事業の運営においても組織の維持においても、人と人との結びつきを大切にし噛み合わせのよい信頼関係を作ることが一番重要になってくるのだと感じ入っている次第であります。

結びに、貴センターの創立40周年に対し改めて敬意を表するとともに、会員の皆様がお一層健康でご活躍され、さらに発展されることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



祝 辞

公益社団法人 福島県シルバー人材センター連合会

会長 川 浪 廣 次

公益社団法人白河・西郷広域シルバー人材センターが、創立40周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

貴センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、広域化や統合を経ながら、会員及び役職員の皆様が力を合わせ、高齢者が働く場を通じての社会参加や、地域貢献等、様々な事業に取り組んでこられました。

特に、県南地域シルバー事業の中核的役割を果たしつつ、活発な委員会や部会活動を中心に、研修会事業の充実、サポート事業や独自事業、ポイントカード、新総合事業による就業機会の拡大、会員拡大に努めてこられました。

また、女性部会を立ち上げ、昨年度の活き活きセミナー、今年度のアクティブセミナーといった新しい事業にも積極的に取り組んでこられています。

このことは、シルバー事業運営の模範となるものであり、深く敬意を表する次第です。

さて、県内人口はますます少子高齢化が進展しています。

人生100年時代です。

元気な高齢者には、その意欲や体力等に応じ、福祉の受け手から、担い手としての活躍が期待されるようになってきています。

高齢者自身も以前と比較し、体力のある方が多くなってきており、就業への意欲も高くなってきております。

今、高齢者が活躍できるような環境整備は、活力ある地域経済・社会を構築する上で、欠くことができないものとなっておりますので、シルバー事業には、大きな期待が寄せられています。

ところで、新型コロナウイルス感染症は、様々な面で県内各方面に大きな影響を及ぼしています。高齢者の外出や人づきあいが減少しているとも言われています。

就業の場を提供している貴センターには、就業はもちろんのこと、仲間づくりや社会貢献等の生きがいづくりや、健康維持も目的として、大勢の高齢者の皆様が集まっています。

このような状況の中、貴センターにおかれましては、これまで、地域社会や高齢者の皆様からの期待に応えられる活動をされてこられました。

改めて、そのご尽力に感謝申し上げますとともに、コロナ禍という厳しい状況が続いている中ですので、これからも高齢者の皆様にとって、安全・安心な、より満足していただける活動を続けていただきますようお願いいたします。

また、地域の皆様には、引き続きのあたたかい御支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、貴センターのさらなる御発展と、会員皆様の御活躍と御健勝を御祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

～ 40 年 の

あ ゆ み ～

西暦(年)	和歴(年)	白河・西郷広域シルバー人材センター	白河市／西郷村
1982	昭57	2月25日 白河シルバー人材センター設立、白河市役所に事務所を設置。10月、白河地域職業訓練センター内へ移転	東北新幹線開業。磐城西郷駅が新白河駅に改称 西郷村文化センター竣工 白河地域職業訓練センター完成
1983	昭58		8月 白河体育館オープン
1984	// 59		8月 国道289号線バイパス立石山開通
1985	// 60		4月 市民球場完成
1986	// 61		10月 広域消防の新庁舎、立石山に完成
1987	// 62		白坂工業団地完成
1988	// 63		
1989	// 64 平成 1		西郷村立村百年記念式典 白河市政40周年記念式典、ふくしま駅伝開始
1990	// 2		「広報白河」A4判カラー化
1991	// 3		白河関の森公園開園 小峰城三重櫓落成
1992	// 4	国庫補助対象団体になる 事務所を白河市役所へ移転 シルバーだより第1号発行	国体記念体育館完成 中央保健センター、白寿園オープン
1993	// 5	創立10周年記念式典 安全就業推進委員と安全委員会を設置	旧白河集古苑竣工
1994	// 6	作業所を開所	前御門落成 「ちゃぼランド西郷」オープン
1995	// 7	「地域班」結成 会員親睦旅行始まる	翠楽苑開園 クリーンセンターオープン 福島国体「軟式野球」「自転車ロードレース競技」開催
1996	// 8	社団法人白河・西郷広域シルバー人材センターとなる 独自事業「ミニ門松」スタート、400個販売	白河警察署新白河交番開所、しらかわ駅 伝開始 西郷村、全国水の郷に認定
1997	// 9	会員互助会発足	みさか小学校開校、白河女子高校名変更し共学化 堀川ダム定礎式
1998	// 10	県南シルバー人材センター協議会発足 補助事業発足/シニアワークプログラム 事業(～H26) 8.27水害により西郷支所被災	3月 白河駅前広場完成 10月 西郷第二中学校着工 堀川・谷津田川河川激甚災害 東北初となるJRAウインズ新白河開所
1999	// 11	「福祉委員会」を立ち上げる	市政施行50周年式典事業 堀川・谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業開始
2000	// 12	「安全就業優良シルバー人材センター」 として全国表彰を受ける	介護保険制度スタート
2001	// 13	介護研修やパソコン講習会の実施	
2002	// 14	白河市大手町に事務所移転 ヘルパー2級養成研修会、各種講習会の実施 「優良シルバー人材センター」として全国表彰 創立20周年記念式典・祝賀会実施	
2003	// 15	県連合会主催「うつくしま・ふくしま シルバーフェア」が白河中央体育館と文 化センターで開催される	堀川・谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業完了

日 本	世 界
500円硬貨発行	フォークランド紛争勃発
東京ディズニーランド開園 グリコ森永事件が発生	ソ連軍、大韓航空を撃墜
東北新幹線 上野ー大宮駅間開業 男女雇用機会均等法施工	ソ連チェルノブイリ原発事故発生
国鉄民営化、JRグループ各社へ分割 青函トンネル開業・瀬戸大橋開通	利根川進、日本人初のノーベル医学・生理学賞受賞
消費税導入(3%)	マルタ会談開催(冷戦の終結)
大学入試センター試験実施 大相撲 若貴ブーム、千代の富士引退 東北新幹線 東京ー上野駅間開業	東西ドイツ統一 湾岸戦争勃発
毛利衛、スペースシャトルで日本人初宇宙飛行 国連平和維持活動(PKO)協力法成立	
日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)開幕	ヨーロッパ連合「EU」発足
小選挙区比例代表並立制導入 関西国際空港開港	
阪神・淡路大震災発生 地下鉄サリン事件が発生	
HIV訴訟和解 病原性大腸菌O-157食中毒が多発	
消費税5%導入 山一証券等、金融機関が相次ぎ破綻	香港返還
冬季オリンピック長野大会開催 8月 集中豪雨災害発生	温暖化防止「京都議定書」に署名
東海村で国内初の臨界事故 臓器の移植に関する法律制定後初の臓器移植	
九州・沖縄サミット開催	ミレニアムイベントが世界各国で開催
	アメリカで同時多発テロ発生 メジャーリーグでイチローがMVP受賞
日朝首脳会談開催	サッカーW杯日韓共同開催
「千と千尋の神隠し」がアカデミー長編アニメ 映画賞受賞	イラク戦争勃発

西暦(年)	和暦(年)	白河・西郷広域シルバー人材センター	白河市／西郷村
2004	// 16	事務費率を5%から8%に改定 会員の年会費を千円から二千円に変更 全国一斉による普及促進月間「シルバーの日」を設ける 独自事業「みちのく工房」開始	西郷「子供の安全見守り隊」発足
2005	// 17	白河・西郷広域に表郷・大信・東村シル バー人材センター統合協定調印式	西郷村の人口増加率が県内トップに 白河市、表郷・大信・東の3村と合併
2006	// 18	表郷・大信・東の3村が白河市と合併する ことに伴い、4センター統合(4月1日) 就業対策委員会の設置	桜祭り・白河花火大会開始
2007	// 19	福島県シルバー人材センター事業の活性 化計画の目標が定められる	白河市中継局地上デジタル本放送開始
2008	// 20	適正就業基準の策定 すくすく子育て支援事業始まる(～H22)	県道白河・羽鳥真名子バイパス開通 白河南中学校開校 白河厚生総合病院移転
2009	// 21	「しらかわ食と職の祭典」に参加 シルバー派遣事業の認可を受ける 適正就業基準の施工	西郷村観光協会設立
2010	// 22	公益法人の移行準備始まる 「しらかわ食と職の市」に参加	JR新白河駅に「白河の関」モニュメント 完成
2011	// 23	東日本大震災により白河本所被災 独自事業「ミニ門松」の中止 「しらかわ食と職の市」に参加	東日本大震災発生 市立図書館りぶらん落成
2012	// 24	公益社団法人白河・西郷広域シルバー人材 センターへ移行、創立30周年を迎える 企業提案方式事業を2件採択(～H26) 「しらかわ食と職の市」参加	米の放射性物質全袋検査 東京六大学応援団白河公演 南湖森林公園オープン 白河駅前広場完成
2013	// 25	事務費率を10%に改定 「しらかわ食と職の市」参加	
2014	// 26	シルバー派遣事業開始 無料職業紹介事業から有料職業紹介事業へ切り替わる Decoraしらかわ2014参加	観測史上最大となる積雪76cmを記録
2015	// 27	県事業「ふくしま夢サポート事業」を採択 全会員対象の就業相談会を行う、「職群班」設置 基盤拡大事業として推進員の配置 Decoraしらかわ2015参加	
2016	// 28	サポート事業推進員の配置 県民間団体企画提案事業を採択 Decoraしらかわ2016参加	マイタウン白河完成 白河文化交流館コミネス落成
2017	// 29	まるごと白河2017参加 会員ひとり一就業、紹介運動を始める	西郷村民屋内プール竣工記念式典
2018	// 30	白河市及び西郷村で「空家管理事業」の協定締結 ポイントカード制度開始 まるごと白河2018参加	西郷村農産物産館まるごと西郷館開館
2019	// 31 令和 1	まるごと白河2019参加	日本工機、探査機はやぶさ2で人工ク レーターの形成に世界で初めて成功 小峰城歴史館落成
2020	// 2	「女性部会」を立ち上げる 福島労働局委託「高齢者活躍人材確保育成事 業」として、セミナー及び就業体験を実施	
2021	// 3	「夫婦会員割引制度」開始 「高齢者活躍人材確保育成事業」を実施 新型コロナウイルスのため新年会を中止(～R4)	白河市役所本庁舎耐震工事完了
2022	// 4	コロナ禍の影響を受け創立40周年記念 式典及び祝賀会中止 3月、創立40周年記念誌発行	

日 本	世 界
鳥インフルエンザ流行	スマトラ沖大地震、インド洋津波発生
建造物耐震強度偽装事件発覚 日本国際博覧会(愛知県)開催	
ライブドア事件発生	第一回WBCにて、日本が初代世界一に
消えた年金問題発覚 防衛庁が防衛省に移行	
日本人3人がノーベル化学・物理学賞受賞	アメリカ、リーマン・ブラザーズ経営破綻
民主党に政権交代 裁判員制度開始	
日本航空が会社更生法の申請、破綻	小惑星探査機「はやぶさ」帰還に成功
	女子サッカーW杯で日本初優勝
復興庁発足 東京スカイツリー完成 アナログ放送終了	
インターネット利用選挙運動解禁 富士山世界遺産に登録	
国家安全保障局発足 消費税8%導入	
北陸新幹線開通	仙台で国連防災会議開催
熊本地震発生 北海道新幹線開業	
稀勢の里、19年ぶり日本人横綱に	トランプ政権発足(アメリカ)
箱根駅伝、青山学院大学4連覇	コインチェックNEM流出事件
天皇陛下生前退位 東日本台風発生 消費税10%導入	大坂なおみがテニス世界ランクで一位に
	新型コロナウイルスが中国で発生、パンデミックに
眞子様、小室さんと結婚 東京オリンピック・パラリンピック開催(1年 延期後)	メジャーリーグで大谷選手がMVP受賞 イギリス、EU脱退